

「パレスチナ・ガザ戦争と日本のNGOによる支援活動」

人々に対する戦争の影響と、避難所での衛生支援活動

■ 日時 平成28年3月29日（火）
18:00～20:00

■ 開催場所



千葉大学亥鼻キャンパス

看護・医薬系総合教育棟 中会議室

千葉大学看護学研究科・看護学部 アクセスマップ

<http://www.n.chiba-u.jp/others/access/index.html>

※TV会議システムを使用して、DNGL共同4大学（高知県立大学、兵庫県立大学、東京医科歯科大学、日本赤十字看護大学）へも配信予定。

■ 講師

並木 麻衣 氏

特定非営利活動法人

日本国際ボランティアセンター パレスチナ事業担当

■ 主催

千葉大学大学院 共同災害看護学専攻

■ 参加費

無料

■ 申込方法

事前申し込みは不要です。直接会場にお越しください。

■ 問い合せ

dnglchiba@gmail.com (担当:添田)

日本国際ボランティアセンター(JVC)

インドシナ難民の救援を機に1980年に設立。現在アジア・アフリカ・中東、そして東日本大震災被災地で支援活動を実施している。農業の研修などを通じて農村の暮らしを支える「地域開発」、紛争地での医療支援などを通じて人々の命を守る「人道支援」、そして現場の声をもとに政府や国際社会に働きかける「政策提言」を活動の柱とする。

<http://ngo-jvc.net/>

Disaster Nursing Global Leader Degree Program (DNGL)

高知県立大学、兵庫県立大学、東京医科歯科大学、千葉大学、日本赤十字看護大学の国公私立の5大学院。人間の安全保障を共通理念とし、日本や世界で求められている災害看護に関する多くの課題に的確に対応・解決し人々の健康社会構築と安全・安心・自立に寄与する人材育成プログラム。

<http://www.dngl.jp/>

ガサ戦争から
人道支援を
考える

